



e-La Voz

「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』 日本語放送 メールマガジン (第55号)

2007年9月29日発行

日本ふれあいの旅(続編)

かつての大阪のシンボルだった阪神・阪急ビルは、目の前の立体交差にはばまれて駅前には往来する人の波。迷子になってはと迎えにきてくださった影山さんにエスコートされて阪急ビル28階の会場へ。席に着いて待っておられた福永さんは熊本から馳せ参じた小学6年生の時からリスナー。岩井さんも小学生のときにラジオで聞いた声がやっと「なま」でできた感激。佐藤さんは「エクアドルにアンデスの声を見た」のTV番組を局から貸し出し公民館で上映してまわってPR。和田さんは現在市民センターで「海外ラジオ放送を楽しもう」と題した講座をひらき、影山さんはデルタ・ループ型アンテナを開発してホームページで紹介と、みんなそれぞれが短波受信に独自の貢献される人ばかり。レストラン「司」の名物土佐料理もさることながら、短波で結ばれた絆の強さには圧倒されました。散会したあと有志で鶴橋駅前に昨年手術をうけられたキム画伯をたずねましたが、回復は順調のようで自筆の色紙を短波仲間にプレゼントされている姿をみてほっとしました。



四国の瀬戸大橋を渡ると高松です。教会では野町太郎さんが待っておられはじめてお会いしました。「アンデスの声」をききながらオルガン修行に専念され、今は屋島教会の専任パイプオルガン奏者として奉仕しておられます。自転車旅行でHCJBに立ち寄られた組橋さんともひさしぶりに再会。その朝の礼拝に出席してくださいました。関門海底トンネルをぬけると九州です。福岡では7年ぶりに酒井さんと邂逅。汗をかきかき「博多ラーメン」を食べたあと、これまでの短波人生を収録させてもらいました。八幡市の響ホールスタジオに入り西田さんにインタビュー。西田さんはピアノの先生としてエクアドルに来られたあと、フランスに3年間音楽留学され、古典楽器パーシコード(チェンバロ)を専攻された新進女性音楽家。リサイタルの日を期待しているところです。

京都では永野さんに京都聖書教会に車で連れて行ってもらいました。BCLブームのときには多くの中学生が集まった教会なので、いつかその頃の生徒たちにも会いたいと思っています。教会で永野さんにインタビューしたところ、逆にインタビューされてしまいました。Podcast用の番組だそうです。銀閣寺、哲学の道などを散策させてもらい緑陰にたたずむ古都を堪能しました。名古屋の細川さんは東京ハムフェアでお会いしましたが、浜松のロイヤルホテルでの集会にも名古屋から顔をみせてくださいました。

飛行機で飛んだ北海道では札幌(発寒中央駅)で大学生リスナーの松永さんとばったり。金谷家での家庭集会のあと、エクアドル国立管弦楽団で活躍した高橋さんの車で洞爺湖へ向かいました。もと「アンデスの声」でいっしょに働いた金子さんが温泉ホテルに招待してくださり、湖畔の花火と湯の香りを満喫しました。翌日はサミット2008年会場となるウインザーホテルを見学し、室蘭の白鳥大橋をわたって千歳へ。千歳原野は私が自衛隊員時代駆け回った野外演習の地。モダンな町並みには目をつぶり昔の面影を追いもとめようとしている自分がおかしくなりました。

群馬は中秋の名月。雲ひとつなく照らし出された赤城の山は絶景でした。私が30年前に胃潰瘍手術をうけた狩野外科医院で健康チェックをしてもらうために何年かぶりに訪ねました。現在院長先生の男の子4人は全員医師になっていますが、先生自身は開院以来の忠実な看護婦長さんとともに生涯現役です。検査の結果、その先生から私もゴーサインをいただきました。ちなみに先生は私と同じ昭和ひとけた生まれ。まだまだ先生に負けず頑張らなくっちゃ！

(註) 尾崎宣教師は、10月6日成田発全日空機でシカゴへ発ちます。

HCJB日本語放送担当

在 主 尾 崎 一 夫

HCJB日本語放送(オーストラリア送信):

放 送 日 時 : 毎週土曜日、日曜日
日本時間 0730 - 0800 (2230 - 2300UTC)
送 信 周 波 数 : 1 5 5 2 5 k H z (1 9 m b)
受信報告書の宛先 : 〒169-0073
東京都新宿区百人町 1 - 1 7 - 8
淀橋教会HCJB係
(※返信用に80円切手を2枚同封して下さい)

【ホームページのご案内】

HCJB日本語放送のホームページ(<http://japanese.hcjb.org/>)には、リスナー・コミュニケーションのためのふれあいコーナー「フォーラム」(<http://japanese.hcjb.org/forums/>)と、メールマガジンのバックナンバーを揃えた「メールマガジン e-La Voz らいぶらり」(<http://www.hcjb.org/japanese/mmz/>)のページがあります。どうぞご利用ください。

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録も[HCJB日本語放送](#)までメールにてお知らせください。なお、メール・リストは配信先メール・アドレスのみで管理されていますので、配信先変更をご希望の場合には、現在登録されている配信先も併せてお知らせください。



Copyright © 2007 by HCJB. All rights reserved.

日本語ホームページ: <http://japanese.hcjb.org/>

Eメール: ☐ 碩 電 kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. Kazuo Ozaki

1920 Berkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.
